



2023年5月20日発行

拝啓

日が沈む時間が遅くなり、夏も少しずつ近づいてきましたね。気づかないうちに体力を奪われるこの季節。適度に休みながら過ごしていきましょう。

さて、皆さんは大学図書館にどれだけ資料があるか知っていますか？なんと54万もの資料があるんです！館内を散策して、気になる1冊を見つけるのも楽しいかも♪

かしこ

--今月号のラインナップ--

Calendar

2023年6月～7月カレンダー

LiLian Special Info.

毎日を頑張るあなたに贈りたい本特集

今月の一冊

『10のストーリー・タイプから学ぶ脚本術』

LiLian Interview

藤田祐史先生（文学部 日本語日本文化学科）



2023年6月・7月 カレンダー

6月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
				1 ◎	2 ◎	3 ○
4 休館	5 ◎	6 ◎	7 ◎	8 ◎	9 ◎	10 ○
11 休館	12 ◎	13 ◎	14 ◎	15 ◎	16 ◎	17 ○
18 休館	19 ◎	20 ◎	21 ◎	22 ◎	23 ◎	24 ○
25 休館	26 ◎	27 ◎	28 ◎	29 ◎	30 ◎	

7月

◎ 8:30~20:00

○ 9:00~16:30

日	月	火	水	木	金	土
						1 ○
2 休館	3 ◎	4 ◎	5 ◎	6 ◎	7 ◎	8 ○
9 休館	10 ◎	11 ◎	12 ◎	13 ◎	14 ◎	15 ○
16 休館	17 休館	18 ◎	19 ◎	20 ◎	21 ◎	22 ○
23/30 休館	24/31 ◎	25 ◎	26 ◎	27 ◎	28 ◎	29 ○

最新情報はHPを
ご確認ください →



LiLian Special Info.

♪ 毎日を頑張るあなたに贈りたい本特集 ♪

新生活が始まって、慣れないことや環境の変化に心が疲れてしまうこともあると思います。そんなときには少しひと休みをして、読書なんていかがでしょうか？あなたの背中をそっと押してくれる本を紹介します！

『優しい人には優しい出来事がありますように。』 もくもくちゃん／著

閲覧室2F(読書コーナー) 726.5/Mo215

SNSで幅広い世代から人気を博しているイラストレーター、もくもくちゃんのイラストがぎゅぎゅっと117点収録されています！かわいくて優しいキャラクターたちとメッセージにひたすら癒やされ、元気をもらえること間違いなしの一冊です。

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』 井上祐紀／著

閲覧室2F 146.8/I577/2

抱えている悩みに対して的確かつ具体的なアドバイスを与えてくれる一冊です。何か悩みをお持ちの方は、読むことで解決の糸口が見つかるかもしれません。自分を休ませるためにすぐに実践可能なことも載っているので、ぜひ試してみてください。

『人生はニャンとかなる！ 明日に幸福をまねく68の方法』 水野敬也／著

閲覧室2F 159/Mi967/2 ※6月末まで閲覧室1F(LiLianの本棚)にあります

かわいい猫の写真に合わせて偉人たちの名言が掲載されています。きっとあなたに刺さる言葉があるはず！さまざまな猫ちゃんに癒やされながら、大切な言葉に出会い元気になれるという、まさに一石三鳥の一冊です。もちろん猫好きの方も必読ですよ！

ここで紹介した本はどれも手軽で難しくなく、本や読書が苦手な方でも簡単に読み終わることが出来ます。気になった一冊があったらぜひ手にとってみてください。

(めい)



*** 今月の一冊 ***

『10のストーリー・タイプから学ぶ脚本術』

ブレイク・スナイダー／著

901
Sn

閲覧室3F

例えば小説や映画、漫画などを見たりして、最高に面白い物語に出会ったとき、自分も物語をつくらしてみたいなと思ったことはありませんか。今回ご紹介する「10のストーリー・タイプから学ぶ脚本術 SAVE THE CATの法則を使い倒す！」は、そんな物語を作ってみたくなった人をサポートしてくれる本です。

物語を書こうとペンをとった方がいいものの、アイデアが上手くまとまらず思うような作品が作れない、そういった悩みを解決してくれます。著者のブレイク・スナイダーさんが映画の脚本を徹底的に分析して導き出した魅力的な物語をつくるための構造が紹介されています。この本を読んでぜひ、あなただけの物語を書いてみてください！

(ゆりな)





LiLian Interview

大すきな先生に
インタビューに
行こう 54

文学部 日本語日本文化学科

藤田祐史 先生



1. 趣味や好きな事は何ですか？

読書です。海外の短編集を読むことが多いです。ロシア文学を中心に様々な国の本を読みます。ジャンルとしては純文学を読むことが多いです。本を読んでいると落ち着かないので、どこに行くときも持ち歩いています。今はフィリップ・K・ディックの傑作集を順に読んでいます。

2. 最近あった嬉しかったことは何ですか？

新しい本に出会えたことです。最近ですと、SF作家のフィリップ・K・ディックの本に出会えたことが嬉しかったです。SFはこれまで夢中になれなかったジャンルでした。まだまだ知らない世界の作品を読むことで、自分の世界を豊潤なものにしてくれます。三十代のときには、1冊の本をきっかけに神学書を読みました。そのようなきっかけは、本屋さんで新しい本に出会うことももちろんありますが、自分の好きな作家が作品内で引用している他の作品を読み始めることが多いです。それが思いがけない世界に広がっていったときは嬉しいです。

3. 先生の研究内容を教えてください

詩や俳句をメインに研究しています。具体的には、人が詩や俳句を思い出す、それはどんなときに思い出すのか、その詩や俳句を思い出すことでその人が何をしているのか、という抽象的な問いを具体的な研究対象で論じることです。例えば、小説の中で登場人物が芭蕉の句を思い出した、なぜその時その句を思い出したのか、読み解いていきます。

4. 大学教員になったきっかけを教えてください

大学では、文学ではなく国際政治学を学んでいました。その後は会社員をしたり、フリーターをしたりしていました。2012年にヴェナンツォ・クロチェッティの展覧会をたまたま見に行った時、不思議な感動と衝撃を受けて、自分は芸術や文学が好きなのだと改めて気づき、「これは動かなくては」と思いました。大学院を受けなおして、非常勤講師をしながら論文を書き、金城学院大学の求人に応募して現在に至ります。

5. 学生時代の思い出は何ですか？

大学生のときに、『青山文学』という同人誌を仲間たちと作ったことです。製本をして学祭などで販売もしました。また、大学生の夏休み期間を利用して、四十日間で四国を一人で歩いて一周しました。毎日地図を見ながら目的地を目指して歩ききった時間は今でも日々の糧となっています。



6. 学生時代にしておいた方がいいことは何ですか？

長編小説を読むなど、何か時間がかかることをするといいと思います。継続してまとまった時間をかけて何かをするのは、社会人になってからはあまりできないことなので、旅行でもなんでも、“長い時間がかかること”を学生のうちにするのをおすすめします。

7. 先生のおすすめの本を教えてください

ロシア文学のチェーホフ『子どもたち； 曠野』がおすすめです。特にその中の『学生』（大学生と訳されることもある）がおすすめです。とても短い作品です。この話の中で、学生が聖書のペテロの否認について思い出します。過去に起きたことと現在は繋がっている、この響き合いをチェーホフは「鎖の両端を見た」と言います。過去と現在の結ばれた時間について印象的に描かれている作品です。

8. 金城生へ一言お願いします

すてきな本に出会えますように！



☆インタビューを終えて

これまで藤田先生とは授業でしか関わりがありませんでした。授業での藤田先生のイメージはとにかく優しく、柔らかい雰囲気の先生でした。もちろんインタビューをしたときも先生は優しく、和やかな雰囲気でしたが、なによりも先生の圧倒的な知識量にとっても驚きました。藤田先生は素晴らしく語彙力に長けていて、言葉の一つ一つがまるで小説の一文のようでした。ぜひ皆さんも藤田先生とお話してほしいと思いました。びっくりしてください！

今回はインタビューを受けてくださりありがとうございました。

とても貴重な経験になりました。

(さくら)

*** 紹介された本（金城学院大学図書館所蔵） ***

『子どもたち；曠野』 請求記号：983/C37/16/B1



Copyright © Kinjo Gakuin University Library. All rights reserved.